

| | | |
|----------------|------|--------------|
| 職員に対する仮払金の回収規定 | 文書番号 | 本部—法規—本事—506 |
| | 承認日 | 2024.03.18 |
| | ページ | 1/2ページ |

職員に対する仮払金の回収規定

[改定管理表]

| 改定番号 | 改定年月日 | 改定内容 | 作成者 | 承認者 |
|------|-------------|------|-------|-----|
| 1 | 2024. 3. 18 | 初版 | 西村 昭郎 | 理事長 |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |

職員に対する仮払金の回収規定

| | |
|------|--------------|
| 文書番号 | 本部—法規—本事—506 |
| 承認日 | 2024.03.18 |
| ページ | 2/2ページ |

回収手順

①休業の申請があった場合は必ず本人と面談し『病欠・自己欠勤申請書』（本部・帳・本事 501-6）を提出する（自署を必ず受ける）。

面談の際には休業中も毎月社会保険料等を支払わなければならない旨を必ず説明する。財形・生命保険料など社会保険料以外の個人の立替分については法人としての立替えを停止することも伝え、法人配布文書別紙「休業にあたって社会保険料支払い等のお知らせ」説明文書を手渡す。

②仮払金が発生した場合は請求書を発行し、請求書の支払期日までに回収する。（支払期日は発送日から1ヶ月以内を目途とする）

③仮払金が3ヶ月以上滞った場合は、本部へ連絡のうえ回収方法を口座振替に変更する。その際は各金融機関指定の「預金口座振替依頼書」を徴収する（口座振替依頼書用紙が必要な場合は本部へ連絡する）。財形・生命保険料などの立替分についても、停止する。

④休職しそのまま退職する場合

退職金がある場合は同意書徴収のうえ退職金にて相殺する。

以上